

## 豊岡市地球温暖化対策推進本部の設置

～ 2050 年二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、脱炭素化に取り組みます～

世界的に喫緊の課題である気候変動に関して次世代への責任を果たすため、本市は 2021 年 3 月議会で 2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを表明した。

職員一人一人が地球温暖化対策を自分ごととして考え、全庁的かつ横断的に豊岡市の脱炭素化の取組みを進めるため、豊岡市地球温暖化対策推進本部(以下「推進本部」という。)を設置する。

### 1 推進本部

#### 目的

2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すため、庁内に推進本部を設置し、市役所の脱炭素化に向けた率先行動を示すことにより、市民や事業者などの自主的で積極的な脱炭素化の取組みを促す。

#### 所掌事務

地球温暖化対策の方針決定及び推進に関する事務を所掌する。

#### 組織

市長を本部長、副市長を副本部長、部長級の職員を本部員とする。

#### 部会

詳細に検討すべき課題について調査又は協議する必要があるときは、推進本部に部会を置くことができる。

### 2 第 1 回推進本部会議

#### 日時

2021年12月 1 日（水）定例庁議終了後

#### 内容

- ア 推進本部の設置について
- イ 豊岡市再生可能エネルギー導入戦略（案）の中間報告について

#### 豊岡市再生可能エネルギー導入戦略

- ・ 2050年二酸化炭素排出実質ゼロを実現するため、市域の温室効果ガス排出量の将来推計や脱炭素シナリオの作成、再エネ導入目標の策定、必要な施策を検討する。(2022年 1 月策定予定)
- ・ なお、第 3 回豊岡市環境審議会(12月 3 日開催)においても豊岡市再生可能エネルギー導入戦略(案)の中間報告を行う。

## 参考 本市の地球温暖化対策の取組み

### 新規事業

- ア 豊岡市再生可能エネルギー導入戦略の策定（2022年1月策定予定）
- イ 豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画の策定（2022年3月策定予定）
  - (ア) プラスチックごみ削減対策実行計画策定委員会で策定
  - (イ) 委員長 原田禎夫、副委員長 木築基弘、委員13人（うち高校生6人）
- ウ 事業者用太陽光発電システム設置補助
  - (ア) 補助額 太陽電池出力1kw当たり30,000円、上限10kw、300,000円
  - (イ) 予算額 1,500千円（300千円\*5件）
- エ 超小型電気自動車〔トヨタ C+POD（シーポッド）〕の導入

### 継続事業

- ア 大規模太陽光発電施設の管理運営

施設名	稼働開始	最大出力	2020年度 電力売払収入
山宮地場ソーラー第1期	2012年度	681.0kw	30,813,684円
山宮地場ソーラー第2期	2013年度	318.8kw	8,774,788円
コウノトリ但馬空港地場ソーラー	2013年度	677.6kw	27,599,889円
竹貫地場ソーラー第1期	2015年度	823.2kw	34,475,359円
竹貫地場ソーラー第2期	2015年度	299.9kw	9,405,539円
合計		2,800.5kw	111,069,259円

- イ 住宅用太陽光発電システム設置補助
  - (ア) 補助額
    - a 太陽電池出力1kw当たり30,000円、上限4kw、120,000円（市外産パネル）  
太陽電池出力1kw当たり40,000円、上限4kw、160,000円（市内産パネル）
    - b 蓄電池容量1kwh当たり20,000円、上限6kwh、120,000円
  - (イ) 予算額 10,080千円
- ウ 木質バイオマス利用機器設置補助
  - (ア) 補助額
    - a ペレットボイラー又はペレットストーブの本体購入費
    - b 薪ストーブ又は薪ボイラーの本体購入費、排気設備及び設置工事費
    - a、b 共に対象経費の1/2以内、上限200,000円
  - (イ) 予算額 4,000千円（200千円\*20件）

〔問合せ〕市民生活部生活環境課地球温暖化防止対策室 TEL0796-21-9136(直通)